

熱狂するワールドカップ、日本チーム也大活躍

サッカーのワールドカップで世界中が湧き上がっています。日本チーム也大活躍、オランダ戦で2-2の引き分け、続くチュニジア戦では4-0で勝ち、そしてスウェーデン戦で1-1の引き分け。見事2位通過で決勝リーグ進出が決まりました。

ワールドカップの試合は必ず対戦国の国旗がグラウンドいっぱいに描かれ、国歌の斉唱の後に開始されます。国の威信をかけて国旗を掲げ、試合は選手の真剣なプレーとともに熱狂するファンが見守る中で盛り上がり展開されてゆきます。

今回の FIFA ワールドカップの参加国は史上最多の48カ国ですが、世界には200ほどの国家があり、そのいずれの国も国旗と国歌をもっていることは誰もが知るところです。

世界の国旗の中で、唯一、太陽を象徴する「日の丸」

国旗のデザインで多いのはアメリカや中国などに代表されるように夜に輝く「星」や「月」を描いたものと、ヨーロッパの仏・独・伊の三色旗のように様々な色で構成されたものが多いようです。



その中で日本は「日の丸」、特異なことに唯一、昼の太陽を象徴する旗を掲げております。

我が国の国名は「日本」、国旗は「日の丸」、なぜなのでしょう？ 考えたことがありますか？ 多くの方は世界で一番初めに太陽が上がる国だからと認識しているようです。

確かにそうなのですが、日付変更線は、1884年に「万国子午線会議」においてロンドンのグリニッジ天文台を通る線を「経度 0 度」と定め、その真反対の経度180度の線が

日付変更線の基準として国際的に定められているのです。それにより日本が世界で最初に太陽が昇る国になり、朝を迎える国になったのです。

ところが、不思議なことに「日本」の名称とか「日の丸」の旗は太古の昔から我が国では使われてきているということです。

国名・国旗には天の意志が反映されています

多くの人は無関心で考えたこともないかもしれませんが、実は国名・国旗というものは人智を超えた大いなる天の意志が自然と浮かび上がって定まっていると推論することが出来るのです。

そんな馬鹿な？ 根拠がないではないかと思う方が多いと思います。が、世に偶然にというものはありえません。現(こ)の世の中は物の世界だけで動いているわけではありません。それ以上に目に見えない能(はたら)きが脈打って生成しているのです。それが宇宙の仕組みなのです。

すべてのものは「原・因・果の法則」によって成り立っており、我が国の国旗が「日の丸」と定められたことも偶然ではないのです。ですから古から我が国が「日本」であり、お隣は朝を意味する「朝鮮」、その先の国が枝を意味する「支那」の国名になっているのも天の自然の流れであったのです。

人気のラーメンは、昔は「支那そば」と呼ばれていました

少々ややっこしい話になってしまいましたので少し話題を変えてゆくことにしましょう。

近年、ボーダレスの時代を迎えて多くの観光客やビジネスマンが世界各地から日本やって来ています。昨年は4270万人に達し過去最高の記録になったとのこと。

それら訪日外国人の多くが日本や日本文化に接し、異口同音に美しい景色や日本人の国民性を称えています。親切、優しい、思いやりがある。礼儀正しい、時間を守る。安全である、紛失物が戻ってくる。駅のホーム等で整然と並ぶ、ゴミが落ちていない……。などなど調和と安全に満ちた日本人の国民性や日本文化を称賛するコメントが SNS 上で頻繁に発信されています。

その中で我が国の美味しい食文化に接して感激した話も数多く紹介されています。その人気の食べ物の一つに「ラーメン」があるようです。

「ラーメン」は筆者が小学生の頃までは「支那そば」と呼ばれていたのです。ところが蒋介石政権が「自国を指す際、支那は蔑称？だから中華民国にせよ」と、敗戦国の日本に要求してきたことにより、それまでの「支那そば」が一転、「中華そば」に改称されるようになったのです。そして年月を経て「ラーメン」へと呼称が変わってゆき、一般化して今日に至っているということです。

GHQによって我が国は根底からひっくり返されてゆきました



日本の弱体化を強力に進めた連合国軍最高司令部（GHQ）昭和50年頃の写真

ことほどさように、今から80年ほどの前の昔、我が国が大東亜戦争に敗れてから戦勝国、すなわち GHQ による日本の歴史伝統を破壊し弱体化して、日本人の魂を肺抜けにする様々な占領政策が行われていったのです。その中には日本語を改ざんする政策も行われました。

そして日本の国は換骨奪胎（かんこつだつたい＝根幹となるものを全てすげ替えること）されていったのです。

古来、我が国は「日ノ本の国」、「日出ずる国」、「神国」、「大和の国」と称してきました。そして国号を「大日本」とし、霊的太陽を旗印にした「日の丸」を国旗としてきました。当

然、GHQ はこれらの国名・国号・国旗・国歌を廃止させたのです。

それから半世紀後、1999年、国旗国歌制定法により国旗は「日の丸」、国歌は「君が代」と正式に定められました。このような経緯でかろうじて国旗・国歌が復活したことは喜ばしいことであるということです。

「神皇正統記」が明かす我が国が神国なる所以について

今の日本人の多くは、戦後の GHQ や日教組の偏向教育により「神国・日本」というと大きな抵抗感を抱くと思いますので、「神国」と称する所以（ゆえん）を伝える文献の一つを紹介することにしましょう。

今から690年ほどの昔、わが国が南朝と北朝に分かれて争っていた時代、その南朝の武将であり公家でもあった北畠親房が幼帝・後村上天皇に捧げた「神皇正統記」の文献があります。その中で「大日本は神国也。天祖はじめて基をひらき。日の神ながく統を伝えたまふ。我が国のみ此のこと有り。異朝には其のたぐいなし。この故に神国と云う也……天照大神、天孫に譲りましにも、此の名あれば根本の号なりとはしりぬべし」と記されているのです。また国歌の「君が代」の歌詞も古代から継がれており、自然発生的に生まれているのです。

他国民には見られない特異なる日本人の国民性

今号では「国名」「国旗」等の話から日本の特異性、日本人の精神性について記してきました。が、今回のワールドカップもそうですが国際的な大きな試合後、毎回のように日本のサポーターは観客席の清掃に誰からも指示されないのに率先して励んでいるようです。この他国民には見られない特異な配慮溢れる日本人の気風、

大和の心、国民性はどこから来ているのでしょうか？

日本の伝統、風習、日本人の資質、DNA、その他いろいろ考えられます。いずれも肯定できますが筆者はその最大の根源的な力は日本語にあると理解しています。

何故なら、全ては波動によって成り立っているのが宇宙の真理であり、その波動を左右するのが言葉であるからです。言葉の波動が意識を左右する、その想念が創念になって行動化し現象化してゆくからです。

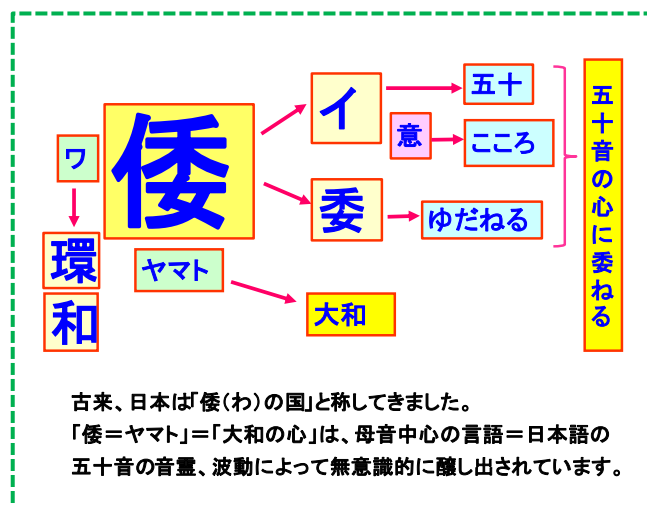
日本語は唯一母音中心の言語、そこに大和心が

世界には6500から7000もの言語があるといわれています。その中で日本語は唯一、母音中心の言語であり、日本語以外の言語はすべて子音中心の言語です。母音は母心、すなわち包容と調和の波動を醸し出し、子音は対立と競合の波動を響きだしていると考えられるからです。

日本語の言霊の力によって、表現を変えれば平明で綺麗な母心の波動を生み出す日本語というソフトにより、大和ごろの日本人の精神性が発揮されていると推理することができるからです。

本誌で毎号紹介している「光透波(コトハ→言波)」は、日本語の言葉文化の中から生まれた新しい言霊学であり、言葉の波動哲理とも言えます。限られた紙面では十分に説明しきれませんので、ご関心のある方は本誌紹介の各セミナーへお越しください。またはホームページをご覧ください・・・。

文責 宿谷



7 月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・命波道塾 (第180回 光透波セミナー)

●日 時 7月23日(木) PM 1:30～PM4:45

●場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B(4F) 東京都港区浜松町1-6-7

●演 題 「天鏡図について」 J R 浜松町(北口) 地下鉄大門(B1) 各4分

●講 師 宿 谷 直 晃 ●参 加 費 3,000円(事前支払者は、2,000円)

●第10回 光の言波・交流交換会

●日 時 7月12日(日) PM 2:00～PM5:30

●場 所 和の音交流館 4階研修室 JR 御徒町南口 徒歩6分 台東区上野5-4-1

●テ ー マ 字割・命波学理論・光の言波真理教室の補講・その他交流学习

●参 加 費 ワンコイン(500円) & ハートマネー

※ 以上 講座の申し込み先 090-2447-2037 (宿谷まで)

●名古屋 命波動学

●日 時 7月 2日(木) PM 1:00～PM 4:00 詞語會 2 基礎講座第30回

●日 時 7月 3日(金) PM 1:30～PM 4:30 詞語會 4 基礎講座第 9回

●日 時 7月13日(月) PM 1:00～PM 4:00 詞語會 1 基礎講座第31回

●日 時 7月14日(火) PM 1:00～PM 4:00 詞語會 3 基礎講座第28回

●日 時 7月17日(金) PM 2:00～PM 5:00 詞語會 6 基礎講座第 4回

●場 所 命波動研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201

●講 師 堀 尾 君 子 ●参 加 費 各3,000円

※ 命波動受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●名古屋 光透波塾

●日 時 7月 1日(水) AM 11:00～PM 2:00

●場 所 D's cafe 名古屋市天白区八事山4 4 0

●演 題 「平和のお話」

●講 師 磯部 賢一

●参加費 4,000円 (ドリンク付き)

●日 時 7月 6日(月) AM 10:00～PM 0:30

●場 所 ペポ 名古屋市昭和区山手通り4 1 5 コメダビル会議室

●演 題 「宇宙生命意識のお話」

●講 師 磯部 賢一

●参加費 3,000円

●熱田神宮リトリートと光透波お話し会

●日 時 7月26日(日) AM 10:00～PM 0:00

●場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前)

●演 題 「五十音意識と神の関係」

●講 師 磯部 賢一

●参加費 3,000円

※ 以上 お申込み、お問い合わせは磯部賢一へ isobeg@gmail.com 090-9199-0248

●Zoom 光透波の集い

●日 時 7月10日(金) PM 2:00～PM10:00 「無題」

●日 時 7月19日(日) AM 9:00～PM 6:00 「名前相談」

●講 師 磯部 賢一

●参加費 ドネーション

※Zoom講座のお申込み、お問い合わせは磯部へ isobeg@gmail.com 090-9199-0248

●第12回 「言霊」宇宙人、お話し会

●日 時 7月12日(日) PM 1:00～PM4:00

●場 所 西宮市夙川駅徒歩 高島美子宅 ※申し込み後にお伝えいたします。

●集 合 JRさくら夙川駅から徒歩3分

●内 容 元公立小学校教師の言霊専門家とライトワーカーの巫女とのお話し会

●参加費 1500円

●講 師 林 和也 結花 MICO

※ 以上 講座の問い合わせと申込み 090-8580-3776 (林まで)

実光透波動研究会

名古屋市名東区香南1-103-8-201

堀 尾 君 子

メールアドレス s8910kimiko@yahoo.co.jp

090-8499-5989

光透波塾

名古屋市熱田区旗屋2-16-4

磯 部 賢 一

メールアドレス isobeg@gmail.com

090-9199-0248

光の言波・命波道塾

東京都品川区小山6-19-5

宿 谷 直 晃

メールアドレス syu98-8do8@mbr.nifty.com

090-2447-2037

光透波、言霊セミナー

兵庫県播磨町西野添2-5-12

林 和 也

090-8580-3776

光透波のホームページ

<http://kotohawanokai.web.fc2.com>

「日本語の言霊パワーと光透波エネルギー」 宿谷直晃著 ヒカルランドから発行

全国の有名書店で発売中。アマゾン等のネットでも購入可

定 価 3000円 + 消費税